

## 【ご案内】

### 「家庭科の授業を語る会（第193回）」の開催

風薫る五月となりましたが、今年は雨の日が多そうで残念です。小・中学校では春の運動会の準備を進められている学校もあることでしょう。子ども達の歓声が青空に響くことを願っています。

さて、第193回の「語る会」では“九州地区で家庭科に携わっていらっしゃる先生方との連携”の続編としまして、熊本県の清永先生に、消費者教育プログラムの実践について話題提供をお願いしました。

今回はオンラインと対面の両方でハイブリッド開催します。どちらでもご都合のよい方にご参加ください。お待ちしております。

- 日時：2024年5月18日（定例の第3土曜日）午後2時から午後4時（参加費：無料）
- 場所：宮崎大学教育学部技術・家庭科棟T211教室 zoomは下記のアドレスに接続下さい↓  
<https://miyazaki-u-ac-jp.zoom.us/j/83100456711?pwd=OE9EUUZ6Zkp4WFRLd2Z4a25CT3lDQT09>  
○ミーティングID: 831 0045 6711 ○パスコード: &8q.XLci
- 話題：持続可能な社会の担い手を育む小学校家庭科授業の創造  
～主体的に生きる消費者の素地を育てる消費者教育プログラムの実践を通して～
- 話題提供者：清永 康代（元熊本県公立小学校）

### 「家庭科の授業を語る会（第192回）」（2024年4月20日）の報告

○話題：家庭科におけるエシカル消費の教材研究～フェアトレードを中心に

○話題提供者：財津庸子（大分大学）

第192回の語る会では、財津庸子先生に「家庭科におけるエシカル消費の教材研究」というテーマで話題提供して頂きました。

まず、先生がエシカル消費につながる研究をどのようにされて来られたのかご紹介下さいました。消費生活分野における教材研究の進め方や小中高の系統性を意識した授業づくりについて示して頂き、実際の授業実践についてご紹介下さいました。

特に印象に残ったのは“見えないプロセスを可視化する”というお話でした。児童生徒に自身の生活を振り返る返らせる家庭科において、今まで無意識だったものを意識化させることによって児童生徒が自身の生活に立ち返った時に新たな発見があったり、今まで持っていなかった視点で物事を見ることができるようになったりするので、教材研究や授業づくりの際には児童生徒の気づきを促すことができるような工夫をしていきたいと思いました。

また、財津先生にフェアトレードを授業に組み込んだ理由について伺った際に、「フェアトレードの商品が好きだから」とおっしゃっており、“自分の好き”を授業に組み込むことによって教員自身も楽しみながら授業をつくることができるといいなと思いました。授業づくりの際には様々な視点を持って取り組んで行きたいと思います。ありがとうございました。（文責：池末）

連絡先：家庭科の授業を語る会（事務局）

〒889-2129 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学家政教育講座内

伊波 富久美（大学院教育学研究科）：Tel/Fax 0985-58-7539（直通）

：メールアドレス [e09101u@cc.miyazaki-u.ac.jp](mailto:e09101u@cc.miyazaki-u.ac.jp)

大矢 英世（教育学部）：Tel/Fax 0985-58-7542（直通）

：メールアドレス [hideyo@cc.miyazaki-u.ac.jp](mailto:hideyo@cc.miyazaki-u.ac.jp)

●「家庭科の授業を語る会」のホームページ：<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc074/htdocs/>

●旧Twitter：fukumi@家庭科を学ぶ子ども達のために <https://twitter.com/BOH0pr7qtF2EVwi>